

どう
生きるか。

2018.1.4 Thu _ 1.28 Sun

開館時間 / 午前10時～午後5時 (入館は午後4時半まで)
休館日 / 月曜日 (但し、1/8(月・祝)は開館、翌1/9(火)は休館)
観覧料 / 一般 1,200円・高大生 700円・小中生 500円
※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引
※土曜日は小中高生入館無料
主催 / 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫
協力 / 名古屋市交通局

企画展

奇才

— 達磨・布袋・一休 ... —

Geniuses Walking Their Own Path Daruma, Hotei, Ikkyū...

我が道をゆく

徳川美術館 蓬左文庫

THE TOKUGAWA ART MUSEUM HŌSA LIBRARY

TEL:(052)-935-6262 TEL:(052)-935-2173

〒461-0023 名古屋市東区徳川町

企画展

奇才、我が道をゆく

Geniuses Walking Their Own Path Daruma, Hotei, Ikkyū...

— 達磨・布袋・一休 ... —



大きな袋とお腹に、にったり笑顔の布袋。七福神として、現代のわたしたちにもなじみ深い彼の正体は、中国に実在した僧侶でした。肩に布袋を担ぎあちこちを歩き回り、そして、自身の末期に弥勒菩薩の化身であると語ったと伝えられています。

何ものにもとらわれずに生きた布袋に代表される「奇才」とは、奇を衒うことなく常軌を逸した言動をとり、時に世間に蔑まれながらも真理を求めた者たちであり、古くから人々の憧憬の対象でした。

絵画や工芸作品には、布袋のほか達磨や寒山・拾得など、中国の様々な奇才が採り上げられ、強烈な個性を放った彼らの多彩な物語をたどることができます。また日本でも西行や一休宗純など異彩を放った人々が、奇抜な物語を遺しています。

本展では、徳川美術館に伝わる絵画作品や工芸品から、奇才たちの物語を読み解き、彼らの魅惑的な世界へと誘います。

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 表紙 布袋図 狩野元信筆
室町時代 16世紀 徳川美術館蔵 | 4 重要美術品 蘆葉達磨図 宮本武蔵筆
江戸時代 17世紀 徳川美術館蔵 |
| 1 許由巢父図 呉偉筆
中国・明時代 15世紀 徳川美術館蔵 | 5 十六羅漢渡海図巻 張成龍筆
中国・明時代 16-17世紀 徳川美術館蔵 |
| 2 東帯天神像 益叟福謙賛
室町時代 14-15世紀 徳川美術館蔵 | 6 堆朱居布袋図香合 古田織部・徳川家康・徳川義直所用
大名物 中国・明時代 15世紀 徳川美術館蔵 |
| 3 奈良絵本 大黒舞
江戸時代 18世紀 名古屋市蓬左文庫蔵 | 7 一休宗純詩偈集 狂雲集(巻頭)
室町時代 文亀3年(1503) 名古屋市蓬左文庫蔵 |

担当学芸員が解説します。
 日程: 1月14日(日)、1月17日(水)
 時間: 各日午後1時~午後1時半
 ※入館者聴講自由

土曜講座
 1月20日(土)午後1時半~午後3時
 「画賞を読み解く」
 学芸員 加藤祥平
 ※有料

徳川園催事
 寒を遊ぶ
 徳川園の冬牡丹
 1月2日(火)~2月12日(月・祝)

次回:
 特別展「尾張徳川家の雛まつり」
 企画展「ひなを楽しむ-旧家のひな飾り-」
 2018年2月3日(土)~4月8日(日)

